

【来賓挨拶】

登壇者(敬称略) ※肩書はイベント開催 当時のもの	榊原 定征 一般社団法人日本野球機構 会長／日本プロフェッショナル野 球組織 コミッショナー／関西電力 取締役会長／日本経済団体連合会 名 誉会長
---------------------------------	---

本日はスポーツエコシステム推進協議会のカンファレンスにお招きいただき、誠にありがとうございます。

スポーツは人々に夢と感動をもたらし、地域社会の活力や次世代の健全な育成にも寄与する重要な社会的基盤です。そして、その価値の根源には、競技が公正かつ公平に行われているという揺るぎない信頼があります。

一方で、スポーツを取り巻く環境は急速に変化しており、国境を越えて拡大する違法スポーツ賭博の問題は、スポーツの信頼を毀損しかねない重大なリスクとして世界的に認識をされています。

スポーツの価値は、筋書きのない勝負の中で生まれる真の感動にあり、その価値に疑念が生ずることがあれば、スポーツ文化のみならず、スポーツ産業全体にも深刻な影響を及ぼしかねません。日本においても、こうしたリスクに対して的確な備えを進めていくことが不可欠であると考えます。特定の競技団体のみで対処するのではなく、スポーツ界が横断的に知見を共有し、関係機関、企業、社会と連携しながら、抑止と対処の実効性を高めていくことが非常に重要です。

このたび日本野球機構がスポーツエコシステム推進協議会とパートナーシップを締結いたしましたのも、まさにこうした認識に基づくものです。今後は協議会との連携を通じて、国内スポーツ団体とのノウハウの共有、あるいは世界のスポーツ団体、関係機関との協働をさらに深め、スポーツ産業全体の清廉性を高めていくとともに、その発展と価値向上に貢献してまいりたいと思います。

不正が起きてから対処するのではなく、不正が起きない環境を整備すること、そして、万一事案が生じた際には、正しい知識と仕組みによって選手や関係者を守り抜くということ。その両面から、必要な取り組みを継続的に推し進めてまいる所存です。

本日のカンファレンスがわが国スポーツ界全体の危機管理意識を一層高め、誰もが安心して競技に親しみ、競技を楽しむことができる環境の整備につながることを心より祈念申し上げ、私のあいさつとさせていただきます。